

インタビュー

バスケットが好き その気持が 頑張る原動力

バスケットボール選手として小柄ながら持ち前のスピードを生かし、リオデジャネイロ五輪の日本代表候補に選ばれている町田瑠唯さん。旭川に帰省した際に、これまでの歩みや競技の魅力を聞きました。

高身長選手の中心 特技を磨いてコートで躍動

町田さんがバスケットボールを始めたのは、西御料地小学校2年生のとき。「練習は厳しかったですが、仲間と助け合ったり、思い合ったりしながらプレーするのが楽しくて、辞めようとは思いませんでした。チームが強くなると、勝つ楽しさも加わりましたね」と町田さん。練習に励み、小学6年生のときには全道2位になりました。

仲間と共に進学した緑が丘中学校では、全国大会に出場。卒業後は、札幌山の手高校の体育コースに進学しました。高身長選手が揃う中、町田さんの身長は162cm。「私の武器はスピードとパス。それをさらに磨くため、朝練をしたり、寮の近くの坂道を駆け上がったたりして鍛えました」と話します。高校3年生のときには、高校総体、国体、高校選抜を制し、3冠を達成しました。

日本代表を目指して 練習に取り組み日々

高校卒業後は、実業団チームに入団。めきめきと頭角を現し、昨シーズンは主将を務めるまで

に。しかし、「本当は人をまとめたり、人前に出たりするのは苦手なんです」と控えめな一面を打ち明けます。ただ、コートに出ればチームを統制するポジションで手腕を発揮。昨年のアジア選手権では、日本チームのオリンピック出場権の獲得に貢献しました。

「バスケットの魅力は最後まで勝負が分らないところ。勝つていても気を抜けないし、負けていても挽回の可能性があります」と話す町田さん。現在は、オリンピック日本代表選手の座を目指し、合宿を重ねています。

「背が低くても諦めることはありません。バスケットが好きなら、自分の得意な部分を見つけて楽しんでやってほしいです」と故郷の子供たちを応援しています。

「日本代表に選ばれるよう、頑張ります」



バスケットボール選手

まちだ 瑠唯さん

平成5年生まれ。バスケットボール女子日本リーグ（Wリーグ）の富士通レッドウェーブに所属。ポジションはポイントガード

写真提供：NANO Association